

◎長期的かつ安定的なヒューマンエラーの低減、未然防止を実現するには

◎「対策の進め方」、「継続するコツ」を1冊に凝縮

生産現場における ヒューマンエラー対策 事例集

～メカニズム／要因分析／教育／環境づくり／対策事例～

●発行：2025年12月26日
●ISBN：978-4-86798-127-6

●体裁：A4判 596頁
※大学・公的機関、医療機関の方には割引価格（アカデミック価格）で販売いたします。
詳細はお問い合わせ下さい。

●定価：88,000円(税込)



本書ではこんな情報を掲載しています

◆要因分析の進め方

- ・ヒューマンファクターとシステムファクターの切り分け方
- ・ヒヤリ・ハットと情報収集
- ・パレート図の活用、対策テーマの決定
- ・要因を見逃さない特性要因図の作成
- ・5W1H、4M4E分析、なぜなぜ分析による追究
- ・SHELモデルによる原因同定手法と事前予測アプローチ
- ・現場で実際に分析やヒアリングを行う際のポイント

◆エラー防止教育

- ・「気づける」人材教育プログラムの構築、実施
- ・ポカヨケ、3Hに着目した防止策
- ・ノンテクニカルスキル教育のポイント
- ・安全衛生教育と定着させるポイント
- ・被害やトラブルを防ぐチーム力の醸成

◆エラー防止のための環境づくり

- ・3安職場づくりと実現するための5S活動の推進
- ・エラーブルーフな仕組みの構築
- ・安全文化醸成に向けた取り組み、評価とポイント
- ・小集団改善活動によるPDCAサイクル管理とエラー防止
- ・ウェルビーイングの考え方とマネジメントとしての取り扱い
- ・従業員のモチベーション向上と職場責任者の向き合い方

◆取り組み、対策事例

- ・製鉄・精錬現場におけるスタッフへの安全衛生教育
- ・化学プラント、製油所における安全対策
- ・化学製品製造における従業員の危険感受性を高める活動
- ・フィルム製品製造現場における安全活動と教育
- ・モーター製造現場におけるTPM活動と人材教育
- ・自動車部品製造現場における安全な職場環境づくり
- ・食品事業所、製菓工場におけるエラー防止、職場環境づくり

執筆者(敬称略)

京都大学 (独)労働者健康安全機構 (株)U'eyesDesign 藤本労働安全コンサルタント事務所 関西大学 (株)MEマネジメントサービス (株)JAIC エラー・コツ研究所 慶應義塾大学 (株)安全マネジメント研究所 University of Information Technology and Management (株)GEMBAコンサルティング (同)高崎ものづくり技術研究所 (株)TPSソリューションズ 長岡技術科学大学 異業種交流安全研究会 (株)安全教育センター (株)遠藤メソッド 鈴木宣二技術士事務所	櫻井芳雄 高木元也 田平博嗣 藤本吟藏 中村隆宏 小川正樹 久保田徹 楠神健 岡田有策 石橋明 村田厚生 大原健佑 濱田金男 村田明彦 芳司俊郎 榎本敬二 角田淳 遠藤友貴哉 鈴木宣二	南川行動特性研究所 津田技術士・安全コンサルタント事務所 (株)SMC (株)日本能率協会コンサルティング 日本発条(株) SRC研究所 日本組織改革研究所 (株)ソフト・アプリケーションサービス (株)日立製作所 (株)村田製作所 (株)アダコテック (一社)原子力安全推進協会 (株)ジェック パーソル(株) 7S3T田中塾 (株)実践マネジメント研究所 CIMA人材教育開発 (株)ジェック経営コンサルタント 南総QC同好会 (株)パーソル総合研究所	南川忠男 津田文男 松田龍太郎 大西弘倫 山下満里子 松本茂治 吉田裕児 中崎勝 沼田崇志 飯塚雄彦 伊藤桂一 前田典幸 越膳哲哉 坂田直樹 田中豊 植條英典 島本長範 高田忠直 猿渡直樹 井上亮太郎	長岡技術科学大学 大阪学院大学 (国研)産業技術総合研究所 ニト・コンサルティング(株) (株)ビジネスプラスサポート 日本製鉄(株) 東邦チタニウム(株) ユーアイ精機(株) 千代田化工建設(株) 半田化学プラント安全研究所 富士石油(株) 日油(株) フタムラ化学(株) 東レ(株) オリエンタルモーター(株) トヨタ紡織精工(株) カゴメ(株) 有楽製菓(株) 六甲バター(株)	北條理恵子 葛西恵里子 佐藤洋 今澤尚久 森田圭美 中島弘喜 山口裕士 水野一路 上田邦治 半田安 橋谷田英之 小島幸也 岡部哲也 中村守秀 二宮夏子 戸敷憲二 江部学 小野寺紘 小泉忠
---	--	---	---	--	---

第1章 ヒューマンエラーのメカニズム

- 第1節 脳の働き方から見たヒューマンエラーのメカニズム
- 第2節 現場で働く人のための新しいヒューマンエラー防止教育の提案
- 第3節 脳の働きからみたヒューマンエラー発生メカニズム
- 第4節 ヒューマンエラー発生メカニズムと対策のポイント
- 第5節 エラー対策の注意点と人間の特性を踏まえた対策検討の必要性

第2章 分析手法とリスクの見える化

- 第1節 エラーの対象となるテーマ、課題設定の仕方と要因の見える化
- 第2節 ヒューマンファクターが与える安全性への影響と情報分析
- 第3節 4M4E分析となぜなぜ分析を用いたエラーの分析と注意点
- 第4節 PSFの抽出と分析～ヒューマンエラーの種になる要因の分析～
- 第5節 VTA法の基本的な考え方と安全マネジメントの実践
- 第6節 SHELモデルに基づいた事故の原因同定と問題の分析
- 第7節 生産現場におけるヒューマンエラー分析の進め方とポイント
- 第8節 ポカミスを予防するエラーブルー化の進め方と
作業観察のポイント
- 第9節 ヒューマンエラーの問題解決
- 第10節 機械設備による労働災害防止対策の手順

第3章 作業員教育と評価

- 第1節 現場実務者を対象とした安全マネジメントの基礎
- 第2節 労災を未然防止する作業員の安全教育とそのポイント
- 第3節 製造技術標準の解説と運用、活用法
- 第4節 3Hに着目した品質管理とエラー対策に向けた作業員教育とは
- 第5節 エラーと重大事故を防ぐノンテクニカルスキル教育のポイント
- 第6節 安全管理、安全衛生管理の基本と定着させる教育のポイント
- 第7節 エラーを防ぐ作業員、リーダー教育と職場づくりポイント
- 第8節 エラーとの向き合い方と対策としての5S推進ポイント
- 第9節 作業経験年数の浅い作業員のエラー防止と教育効果の確認
- 第10節 エラー防止に向けた管理者と作業員との持つべき視点
- 第11節 建設現場に学ぶ、見えない危険の見える化とリーダー育成
- 第12節 ポカミスを防ぐ作業員教育とモラルマネジメント

第4章 AI、VR、IoTを活用した対策技術

- 第1節 遠隔地から現場作業のお手本を提示できるシステムの研究開発
- 第2節 エッジAI技術を応用した製造業の工程作業におけるエラー防止
- 第3節 目視検査のうっかりミスを防ぐPOKAMIRUの開発と事例

第5章 環境づくりと組織改革

- 第1節 職場における安全文化醸成の取り組み、安全文化評価の考え方
- 第2節 安全な職場環境を維持する組織づくり、コミュニケーション
- 第3節 不良防止の仕組みづくりに向けた検査業務マネジメント
- 第4節 ミスを防ぐ教育訓練・改善活動のポイントと職場・作業管理
- 第5節 不良・手直しの発生要因を元から断つ仕組みづくりと対処法
- 第6節 ヒューマンエラーを防ぐチーム力の醸成と仕組みづくり
- 第7節 組織で取り組むヒューマンエラー＆ポカよけの仕組みづくり
- 第8節 小集団改善活動の活性化によるエラーの未然防止と社員教育
- 第9節 産業組織におけるウェルビーイングと推進活動の取り組み方
- 第10節 はたらく人の安全のためのウェルビーイング定量化に向けて
- 第11節 従業員の働きやすさと生産性の維持向上を実現する組織作り
- 第12節 高齢社会における職場環境とウェルビーイングの標準化展望

第6章 マニュアル、手順書の作成ポイント

- 第1節 エラーの削減・再発防止に向けたマニュアル作成のポイント
- 第2節 エラー防止、業務引き継ぎに活用できるマニュアルのつくり方

第7章 対策事例

- 第1節 製鉄・精錬現場におけるスタッフへの安全衛生教育の取り組み
- 第2節 金属粉の製造現場における安全活動とヒューマンエラー防止
- 第3節 「事業継続力強化計画」連携時のヒューマンエラー対策
- 第4節 化学プラントの安全対策
- 第5節 化学プラントの安全操業に向けたエラー防止、技術伝承
- 第6節 石油精製におけるヒューマンエラー防止の取り組み
- 第7節 従業員の危険感受性を高める活動
- 第8節 フィルム製品製造現場における安全活動と安全教育の取り組み
- 第9節 複合工場における安全活動
- 第10節 モーター製造現場におけるTPM活動の推進とエラー防止
- 第11節 自動車部品製造における安全な職場環境づくりとエラー防止
- 第12節 食品事業所におけるヒューマンエラー防止の取り組み
- 第13節 製菓工場のリスクアセスメントと労災を発生させない環境
- 第14節 ベビーチーズ製造工程における品質管理と自動化との融合



詳細な目次・内容の確認、
購入や試読のお申込みはこちらから

<申込要領>

●本書は一般書店では取り扱いをいたしていません。
右記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りください。
ホームページからも申込みできます。 <https://www.gjijutu.co.jp/>
申込書が届き次第、書籍・請求書をご送付いたします。

●支払方法
銀行振込または現金書留にてお願いいたします。
郵便振替はございません。 振込手数料はご負担ください。
銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。

●お申込・お問い合わせ先

 **技術情報協会**
TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

〒141-0031
東京都品川区西五反田2-29-5
日幸五反田ビル8F
TEL：03-5436-7744（代）
FAX：03-5436-7745

「ヒューマンエラー」(No.2319) 申込冊数冊

定価：88,000円(税込)

会社名			
所属			
氏名		e-mail	
住所			
TEL		携帯電話	
今後、定期的な案内を希望されない場合、案内方法に×印をお願いいたします。 (現在案内が届いている方も再度ご指示ください)〔郵送・ショートメッセージ(携帯電話)・e-mail〕			
【個人情報の利用目的】・商品の受付、商品発送、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品・新サービスに関するご案内のため			